

2016年5月31日

株式会社やまや

2016年3月期

決算説明資料

2015年4月1日～2016年3月31日



宮城県仙台市宮城野区榴岡3丁目4-1

アゼリアヒルズ19階

TEL 022-742-3115(社長室)

FAX 022-742-3100



第1部：連結 2016年3月期の業績

連結 2016年3月期 通期実績

●連結 2016年3月期 通期実績

- 売上高 1,693.7億円(前年同期比 + 3.8%)
- 営業利益 65.5億円(前年同期比 +19.3%)
- 経常利益 65.8億円(前年同期比 +20.4%)
- 親会社株主に帰属する当期純利益 23.6億円(前年同期比 +46.3%)
- EBITDA 99.6億円(前年同期比 +10.0%)

単位(百万円)

項目	2015年3月期		2016年3月期					
	実績	構成比	業績予想	構成比	実績	構成比	予想比	前期比
売上高	163,158	-	173,000	-	169,371	-	97.9%	103.8%
売上総利益	51,808	31.8%	-	-	54,007	31.9%	-	104.2%
販管費	46,314	28.4%	-	-	47,454	28.0%	-	102.5%
営業利益	5,494	3.4%	6,500	3.7%	6,553	3.9%	100.8%	119.3%
経常利益	5,466	3.4%	6,400	3.7%	6,580	3.9%	102.8%	120.4%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,614	1.0%	2,200	1.3%	2,362	1.4%	107.4%	146.3%
EBITDA	9,060	5.6%	-	-	9,964	5.9%	-	110.0%

セグメント別 2016年3月期 通期実績

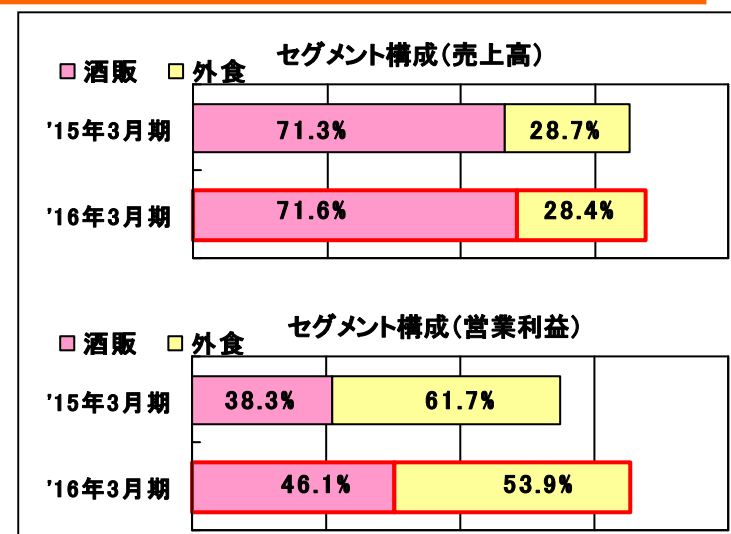
●酒販事業 2016年3月期 通期実績

- 売上高 1,219.8億円(前年同期比 +4.3%)
- 営業利益 30.2億円(前年同期比 +43.8%)

●外食事業 2016年3月期 通期実績

- 売上高 481.3億円(前年同期比 +2.9%)
- 営業利益 35.3億円(前年同期比 +4.1%)

※酒販事業の月別売上・客数推移については18ページを、
外食事業の月別売上・客数推移については27ページをご覧ください。



単位(百万円)

項目	2015年3月期				2016年3月期					
	酒販事業		外食事業		酒販事業			外食事業		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前期比	実績	構成比	前期比
売上高	116,939	-	46,761	-	121,982	-	104.3%	48,131	-	102.9%
売上総利益	20,737	17.7%	31,088	66.5%	21,990	18.0%	106.0%	32,030	66.5%	103.0%
販管費	18,635	15.9%	27,695	59.2%	18,969	15.6%	101.8%	28,499	59.2%	102.9%
営業利益	2,101	1.8%	3,392	7.3%	3,021	2.5%	143.8%	3,531	7.3%	104.1%

チムニー(株)決算数値と当社連結時の数値の相違について

単位(百万円)

費目	チムニー(株)決算数値				やまや連結に至る会計処理						やまや 連結 計上 数値
	2015年 1~3月 実績	2015年 1~12月 実績	2016年 1~3月 実績	(注①) 2016年 3月期 実績	(注②) 改装閉店損 失を特別損 失より営業 外費用へ振 替	(注③) チムニー(株) のれん償 却費減算	(注④) チムニー子会 社化による のれん償 却額加算	(注⑤) 少数株主 利益の計 上	(注⑥) その他 調整	(注②~⑥計) 会計処理に よる調整額 合計	
売上高	11,319	47,786	11,664	48,131	-	-	-	-	-	-	48,131
売上総利益	7,528	31,703	7,855	32,030	-	-	-	-	-	-	32,030
販管費	6,720	28,073	6,994	28,347	-	△480	642	-	△11	151	28,499
営業利益	808	3,629	861	3,682	-	480	△642	-	11	△151	3,531
経常利益	842	3,702	875	3,735	△46	480	△642	-	11	△197	3,537
税引前利益	826	3,373	814	3,361	-	480	△642	-	11	△151	3,210
法人税等	374	1,404	387	1,418	-	-	-	-	4	4	1,422
非支配株主に帰属 する当期純利益	△0	-	△0	0	-	-	-	1,179	-	1,179	1,180
親会社株主に帰属 する当期純利益	452	1,968	426	1,942	-	480	△642	△1,179	7	△1,334	607

注① お手元のチムニー(株)平成27年12月期(2015年1月~12月)決算短信の業績数値より、第1四半期連結実績(2015年1月~3月)を差引き、平成28年第1四半期連結実績を加えることにより、当社決算期に合わせ2015年4月~2016年3月の連結実績を連結いたします。

注② チムニー(株)では、改装・閉店損失が特別損失に計上されておりますが、当社会計基準に合わせ、営業外費用へ振替を行っております。(営業外費用の増加及び特別損失の減少のため、経常利益のみ△96百万の影響、税引前利益以下には影響なし)

注③ チムニー(株)実績には「のれん償却」が含まれておりますが、チムニー株式取得による連結のれん算定時の純資産にはチムニー(株)としての「のれん」を含めておりませんので、チムニー(株)としての「のれん償却」を消去しております。(4月~3月で480百万円)

注④ チムニー株式取得による連結のれんが128億円計上され、これを20年均等償却としており、償却額は年間6.4億円となります。

注⑤ 当社のチムニー株式持分は52%であるため、48%が少数株主持分となります。このため(注①)のチムニー(株)の当期純利益1,942百万円に、(注③)のチムニー(株)のれん償却減算480百万円を加えた2,422百万円の48%である1,179百万円が少数株主利益に計上されます。

連結財務状況 2016年3月期 バランスシート

- 総資産:698.2億円 (前期末比 + 1.8億円)
- 負債 :409.7億円 (前期末比 △22.1億円)
- 純資産:288.4億円 (前期末比 +24.0億円)

単位(百万円)

	2015年 3月末	2016年 3月末	前期末比
流動資産	27,075	28,771	1,696
固定資産	42,565	41,052	△1,512
流動負債	31,427	30,756	△670
固定負債	11,767	10,220	△1,546
純資産	26,446	28,847	2,400
総資産	69,641	69,824	183

■ 資産に関するポイント

- ・主な内訳は、
現金及び預金75.8億(△6.4億)
商品及び製品153億(+17億)
有形固定資産178.7億(△7億)
のれん114.1億(△6.4億)
差入保証金97億(△0.3億)

■ 負債に関するポイント

- ・主な内訳は、
買掛金100.7億(+2.4億)
短期借入金93億(+13億)
1年内返済予定長期借入金27.2億(△25.9億)
長期借入金48.7億(△6.1億)

■ 純資産に関するポイント

- ・利益剰余金160億(+20.1億)、
非支配株主持分36.4億(+7.1億)、

連結財務状況 2016年3月期 キャッシュ・フロー

単位(百万円)

	2015年3月期	2016年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,580	6,377
税金等調整前当期純利益	5,124	6,084
減価償却費・のれん償却費	3,466	3,294
法人税等の支払	△2,085	△2,478
その他合計	15	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,281	△2,718
固定資産の取得による支出	△1,165	△2,306
その他合計	△65	△69
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,376	△4,305
借入金の増加による収入	1,226	4,050
借入金等の返済による支出	△3,580	△5,957
配当金、その他の支出	△573	△564
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額	△77	△647
現金及び現金同等物の期首残高	8,293	8,216
現金及び現金同等物の期末残高	8,216	7,569

■ キャッシュフローに関するポイント

<営業活動によるキャッシュフロー>

- ・税金等調整前当期純利益60.8億、減価償却費26.4億
- ・のれん償却費6.4億、棚卸資産の増17.8億、仕入債務の増2.4億

<投資活動によるキャッシュフロー>

- ・固定資産23億取得、差入保証金6.2億の支払による支出

<財務活動によるキャッシュフロー>

- ・設備投資に伴う割賦債務およびリース債務の支払13.0億
- ・配当金の支払3.4億、非支配株主への配当金の支払2.1億
- ・短期借入金の純増13億、長期借入金による収入27億、返済による支出59.5億

連結 2017年3月期 業績予想

●連結 2017年3月期業績予想

- 売上高 1,740億円(前年同期比 +2.7%)
- 営業利益 67億円(前年同期比 +2.2%)
- 経常利益 66億円(前年同期比 +1.1%)
- 親会社株主に帰属する当期純利益 25億円(前年同期比 +5.8%)

単位(百万円)

項目	2016年3月期		2017年3月期		
	実績	構成比	業績予想	構成比	前期比
売上高	169,371	-	174,000	-	102.7%
営業利益	6,553	3.8%	6,700	3.8%	102.2%
経常利益	6,580	3.8%	6,650	3.8%	101.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,362	1.3%	2,500	1.4%	105.8%

(2017年3月期予想セグメント別)

	酒販事業		外食事業	
	業績予想	前期比	業績予想	前期比
売上高	124,000	101.7%	50,900	105.8%
営業利益	3,100	102.6%	3,800	103.1%

*セグメント間取引消去等により、セグメントの合計値は連結数値とは一致しません。

*外食事業の業績予想は、チムニー株式会社の15ヶ月連結業績予想のうち、2016年4月～2017年3月の12ヶ月のものです。

連結 2017年3月期 業績予想の概要

■ 連結 2017年3月期 業績予想のポイント

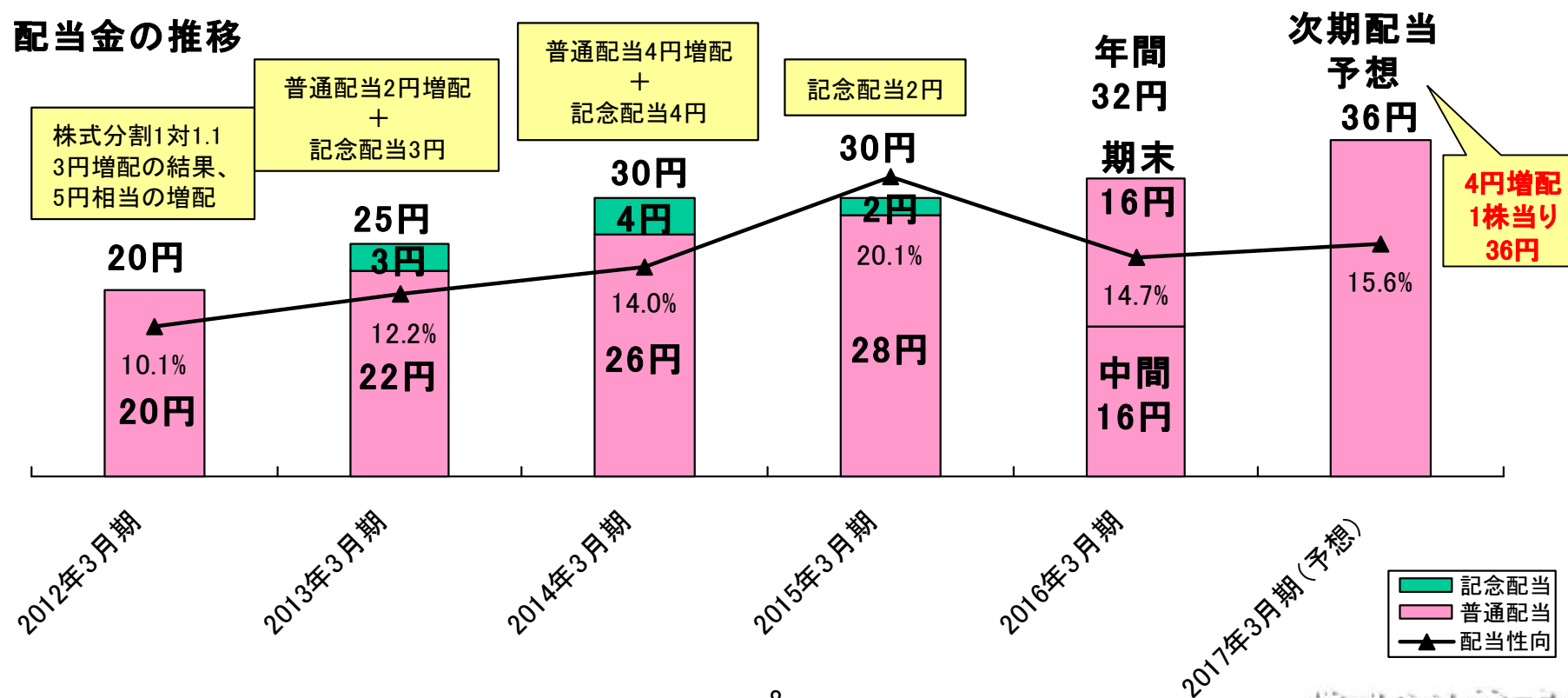
- ・今後の経済情勢は、消費税増税を見据えた景気対策への期待感がある一方、生活の質の向上を重視する消費傾向の下、お客様の選別の目は一層厳しくなるとともに、所得水準の伸び悩み等による消費支出や消費マインドの冷え込みの長期化が懸念され、先行き不透明な状況は続くと思われまます。
- ・酒販業界においては、縮小傾向の業界における事業者間の生き残り競争が、増税後には、さらに激化し、専門店としての「サービス」に対するお客様の選別の目はますます厳しくなると考えられます。酒販事業においては、引き続き、お客様の視点に立ち、お客様のニーズに寄り添ったお店づくりサービス・商品ラインアップの拡充をさらに推し進めてまいります。15店舗の新規出店と30店舗の既存店活性化を計画し、R&B(リニューアル&ビルド)によるお客様との接点の質的向上を図ってまいります。また酒販事業と外食事業の協働による相乗効果の最大化にも継続して取り組んでまいります。
- ・外食事業においても、今まで以上にお客様のニーズを捉え、より高い付加価値を提供し得る店舗展開及び業態拡大を目指し、45店舗の新規出店と60店舗の改装・修繕を計画し、C&B(チェンジ&ビルド)の推進を続けてまいります。

※外食事業の業績予想については、当社の決算期に合わせるため、平成28年5月6日に15ヶ月決算として開示された平成29年3月期業績予想のうちの、平成28年4月から平成29年3月の12ヶ月を業績予想としております。

配当政策について

- 当社は、安定的な配当を継続することが配当政策上重要であると考えております。さらに、企業体質の一層の強化と今後の事業展開に備えるための内部留保の充実を勘案して、株主への配当を実施していくことを基本方針とし、中間配当と期末配当の年2回の配当を行うことしております。
- この方針に基づき、2016年3月期の期末配当を期初の配当予想どおり、1株当たり16円といたしました。実施済中間配当16円合わせ年間配当金は1株当たり32円となります。

配当金の推移



業態(屋号)別店舗数について(2016年3月末現在)

＜酒販事業＞	店舗数	うちダイソー併設店舗数
やまや	285	(27)
業務店・通販	10	
楽市	27	
スピード	1	(1)
びっくり酒店	3	
小計	326	(28)

＜外食事業＞	店舗数	うちFC店舗数
はなの舞	292	(166)
魚鮮水産・さかなや道場	180	(55)
軍鶏農場	19	(1)
豊丸水産	43	(1)
こだわりやま・チムニー・升屋 等	114	(71)
コントラクト事業	92	
小計	740	(294)

グループ合計店舗数	1,066
-----------	-------

酒販事業 店舗ネットワーク

全国29都府県に326店舗のネットワーク (2016年3月末現在)



(295店舗)

※業務店・通販店含む



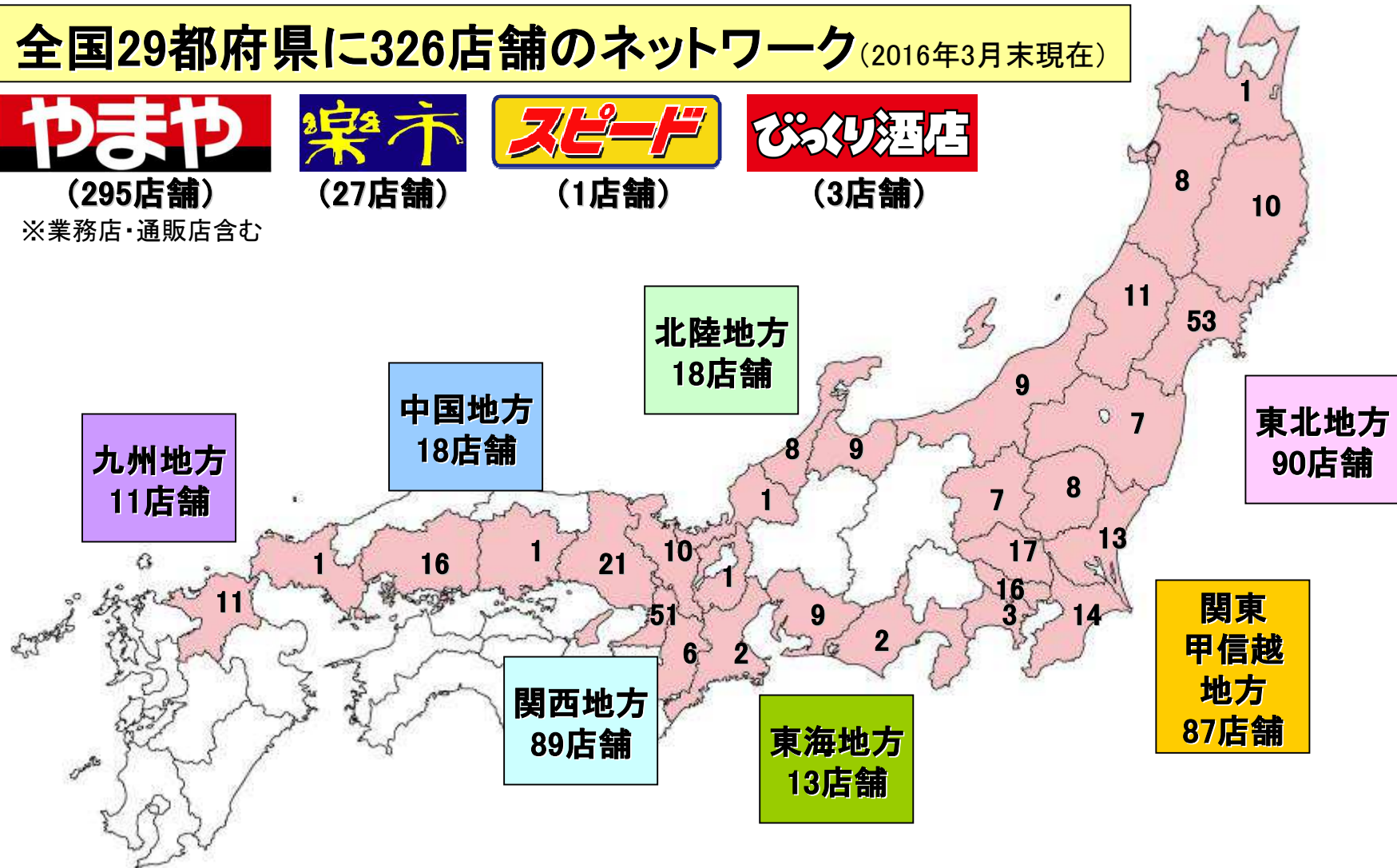
(27店舗)



(1店舗)



(3店舗)

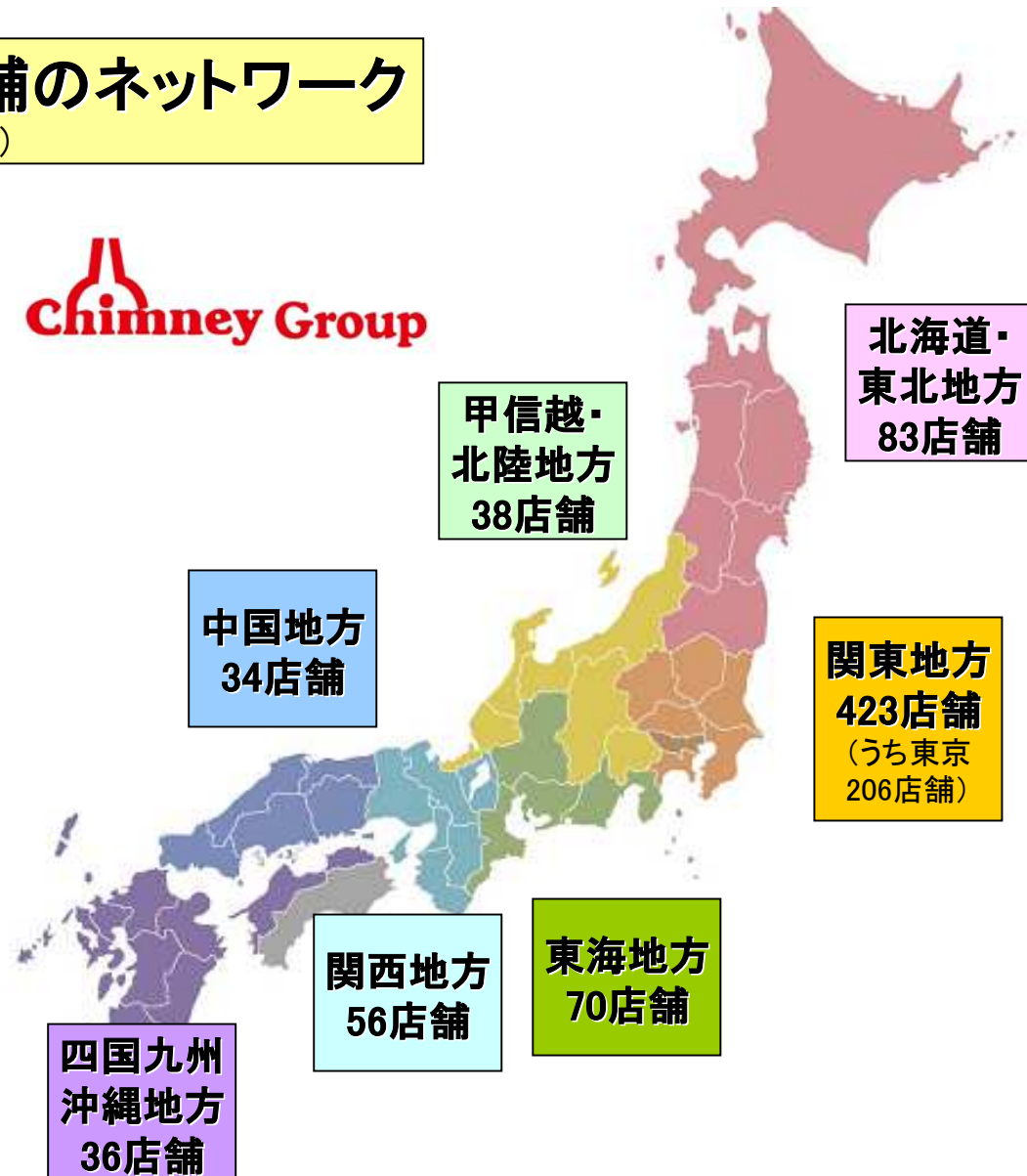


外食事業 店舗ネットワーク

全国46都道府県に740店舗のネットワーク

(2016年3月末現在)

	直営店	FC店	総店舗
はなの舞	126	166	292
さかなや道場	125	55	180
軍鶏農場	18	1	19
豊丸水産	42	1	43
こだわりやま	3	36	39
チムニー	0	7	7
升屋	2	2	4
他業態	6	26	32
コントラクト	92	0	92
新橋やきとん	18	0	18
豊丸・鶴金	14	0	14
合計	446店	294店	740店



重要な連結子会社の状況

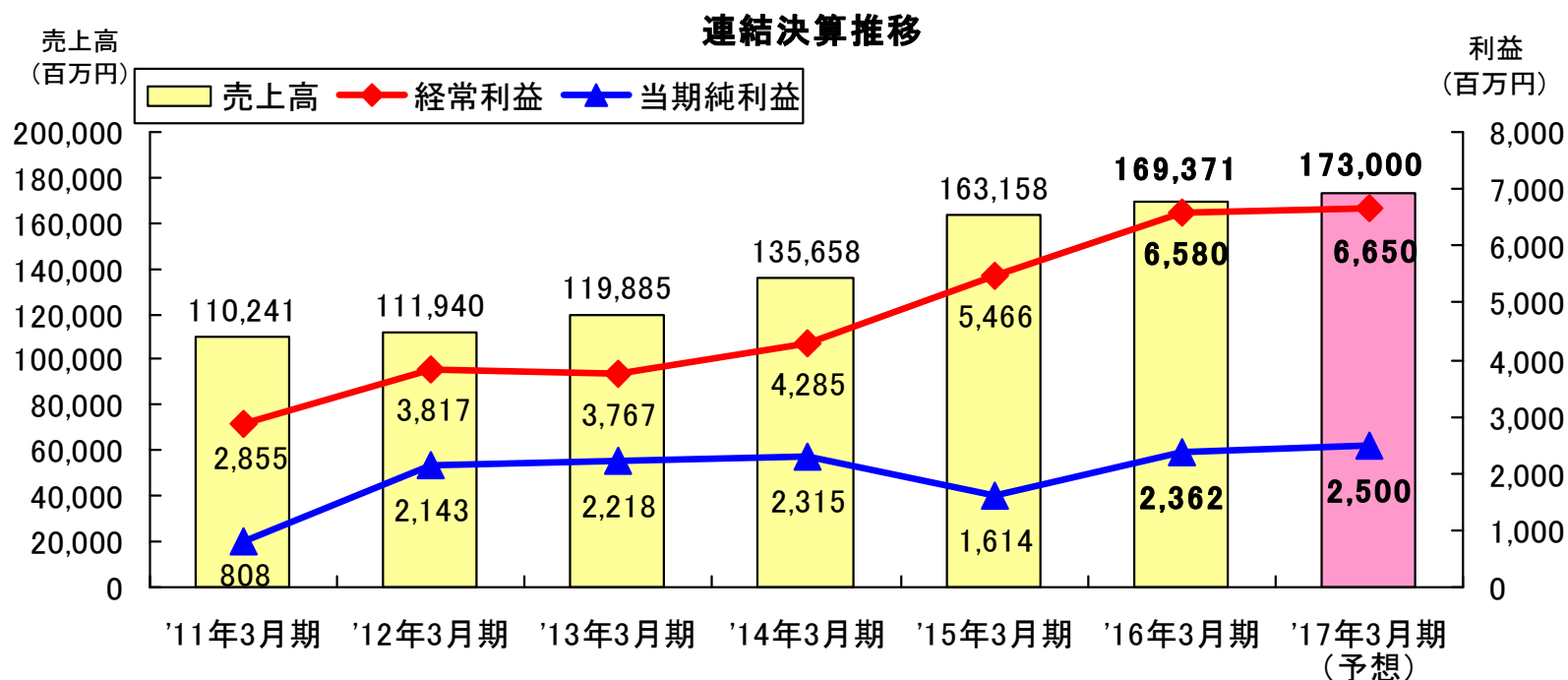
名称	資本金	議決権比率	主要な事業内容
やまや関西(株)	45百万円	100.0%	酒類・食料品等の小売
やまや商流(株)	38百万円	100.0%	酒類・食料品等の卸売
やまや北陸(株)	10百万円	100.0%	酒類・食料品等の小売
大和蔵酒造(株)	10百万円	100.0%	酒類・食料品の製造及び卸売
チムニー(株)	5,772百万円	51.6%	居酒屋を中心とした飲食業
(※)めっちゃ魚が好き(株)	100百万円	51.6%	居酒屋を中心とした飲食業
(※)株紅フーズコーポレーション	10百万円	51.6%	居酒屋を中心とした飲食業
(※)魚鮮水産(株)	20百万円	43.0%	漁業、鮮魚の仕入及び販売
(※)大田市場チムニー(株)	5百万円	51.6%	鮮魚、生鮮品の仕入及び販売

(※)めっちゃ魚が好き(株)、株紅フーズコーポレーション、魚鮮水産(株)及び大田市場チムニー(株)の4社はチムニー(株)を通じた間接保有の連結子会社です。チムニー(株)の4社の議決権比率は、めっちゃ魚が好き(株)、株紅フーズコーポレーション及び大田市場チムニー(株)は100%、魚鮮水産(株)は83.4%となっており、それぞれに(株)やまやのチムニー(株)の議決権比率51.6%を乗じたものが、これら3社の議決権比率となります。

連結決算推移

単位(百万円)

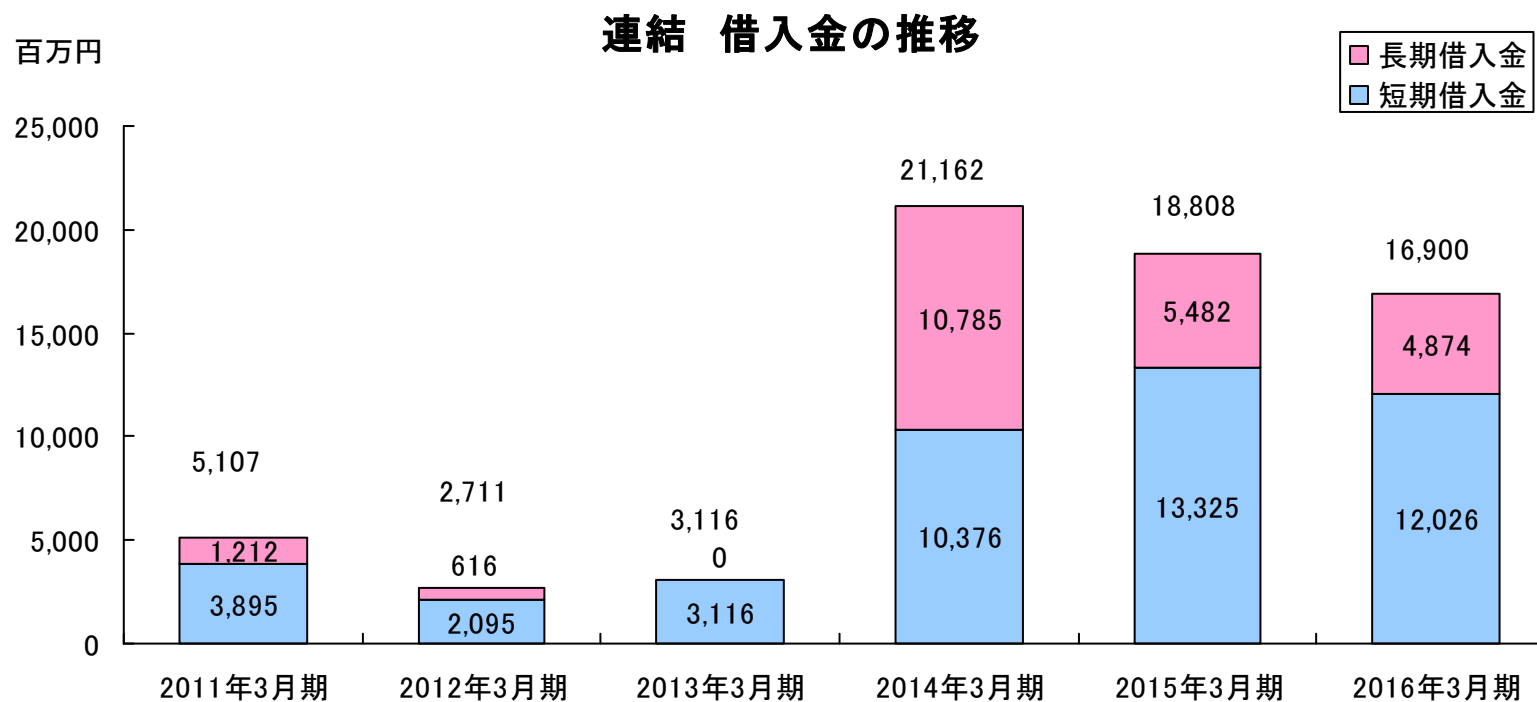
	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想
売上高	110,241	111,940	119,885	135,658	163,158	169,371	173,000
営業利益	2,754	3,599	3,551	4,200	5,494	6,553	6,700
経常利益	2,855	3,817	3,767	4,285	5,466	6,580	6,650
当期純利益	808	2,143	2,218	2,315	1,614	2,362	2,500



連結 借入金の状況

単位(百万円)

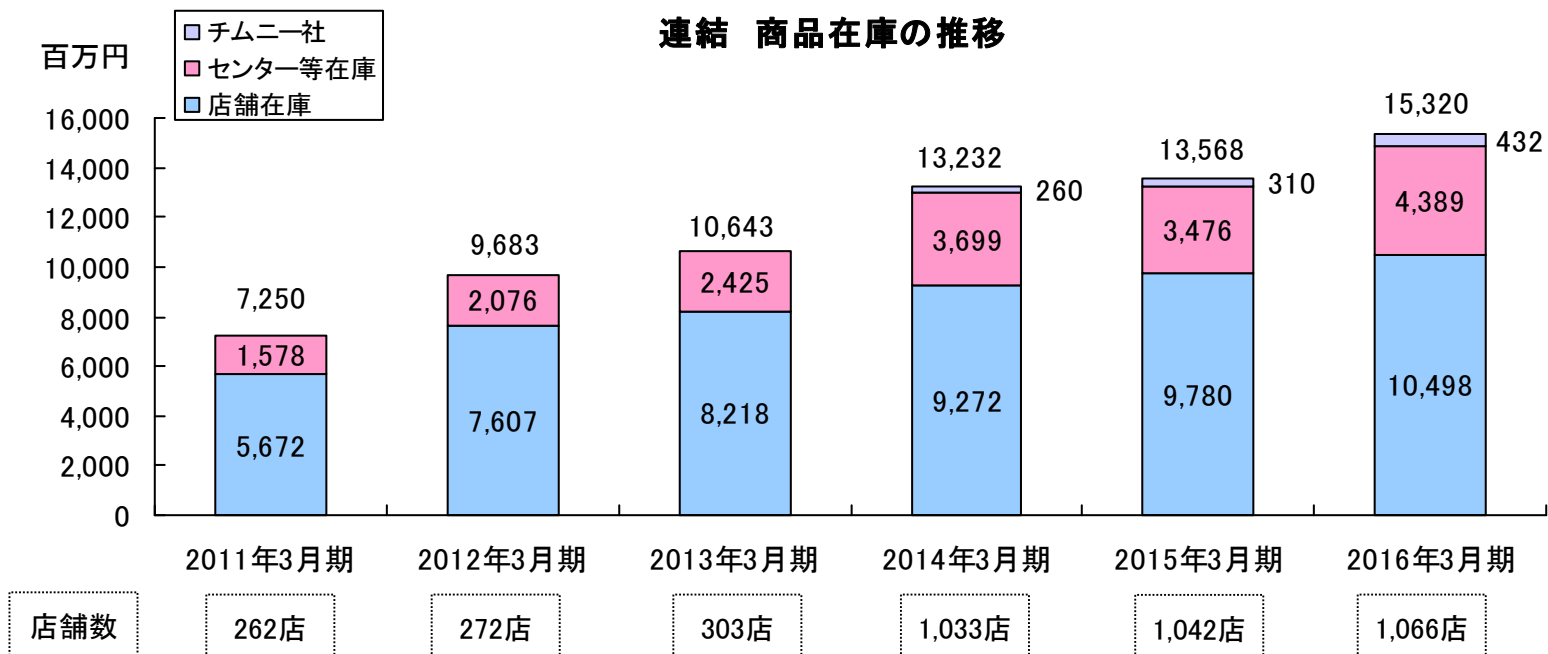
	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
短期借入金	3,895	2,095	3,116	10,376	13,325	12,026
長期借入金	1,212	616	0	10,785	5,482	4,874
合計	5,107	2,711	3,116	21,162	18,808	16,900



連結 商品在庫の状況

単位(百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月末
店舗在庫	5,672	7,607	8,218	9,272	9,780	10,498
センター等在庫	1,578	2,076	2,425	3,699	3,476	4,389
チムニー社	-	-	-	260	310	432
合計	7,250	9,683	10,643	13,232	13,568	15,320
店舗数	262店	272店	303店	1,033店	1,042店	1,066店



E.O.F

【本資料に関する注意事項】

本資料は、本年11月11日に発表しました「平成28年3月期 第2四半期決算短信」の参考資料として、平成28年3月期 第2四半期の業績動向を補足説明することを目的として作成したものです。本資料に掲載されている株式会社やまや及び連結の業績見込み、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、事業等のリスクや不確実な要因によっては、大きく変化する可能性があります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

また、本資料は、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断に基づいて行っていただきますよう、お願い申し上げます。

第2部：セグメント別 2016年3月期 通期業績

酒販事業 2016年3月期 通期実績

●酒販事業 2016年3月期 通期実績

- 売上高 1,219.8億円(前年同期比 + 4.3%)
- 営業利益 30.2億円(前年同期比 +43.8%)

単位(百万円)

項目	2015年 3月期	構成比	2016年 3月期	構成比	前期比
売上高	116,939	-	121,982	-	104.3%
売上総利益	20,737	17.7%	21,990	18.0%	106.0%
販管費	18,635	15.9%	18,969	15.6%	102.0%
営業利益	2,101	1.8%	3,021	2.5%	143.8%

酒販事業 2016年3月期 通期業績 主要数値の内容

■ 売上高1,219.8億円(前年同期比+4.3%)

- ・既存店 +36.9億円(前年同期比+2.5%)
- ・全店 +44.6億円(前年同期比+3.8%)
- ・酒販計 +50.4億円(前年同期比+4.3%)
(酒販計には卸売等の売上を含みます)

期初時点において、増税後の反動減や消費抑制などからの完全な脱却を果たし、売上・客数ともV字回復を達成しました。第3四半期は、すでに嗜好品の消費が回復基調を見せていた前年同期をしっかりとキャッチアップすることができました。一方、年明けから顕著になった景気減速感が鮮明となり、嗜好品の消費抑制が再燃したことなどにより、前年を若干下回りました。

■ 売上総利益率18.0%(前年同期比+0.3%)

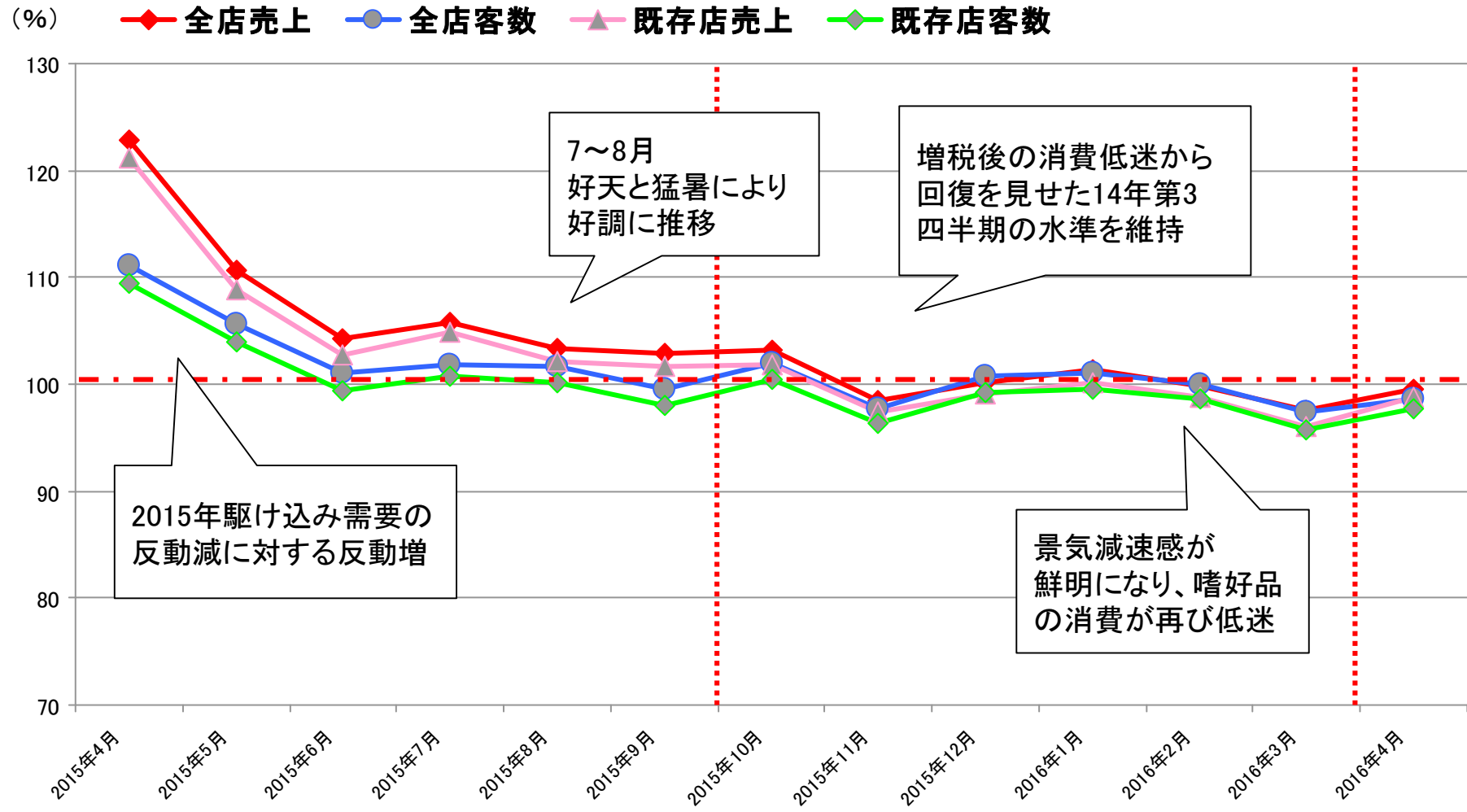
- ・改装、新規商品の投入等による既存店の活性化、実地棚卸の精度アップ及び商品廃棄ロス削減への取り組みにより、売上総利益率は+0.3%改善しました

■ 営業利益率2.5%(前年同期比+0.7%)

- ・店舗照明の電力消費量削減を目指し、今上期は23店舗で照明のLED化を実施。これまでに全店舗の約6割に当たる189店舗でLED化を完了いたしました。これらの効果もあり、販管費率は前年の15.9%→15.6%に改善し、営業利益率は0.7%改善いたしました。

酒販事業 2016年3月期 通期業績

既存店売上及び客数前年対比の推移



酒販事業 2016年3月期出退店状況

■ 2016年3月期新規出店店舗

店舗名	所在地	開店月
新発田店	新潟県	15年4月
深井駅前店	大阪府	15年4月
砺波店	富山県	15年7月
青梅今寺店	東京都	15年9月
足利八幡店	栃木県	15年11月
前橋三俣店	群馬県	16年2月
東大和店	東京都	16年2月
市原五所店	千葉県	16年3月

■ 2016年3月期閉店店舗

店舗名	所在地	閉店月
橋本店	福岡県	15年10月
鎌取店	千葉県	16年2月

※橋本店は「びっくり酒店」業態

■ (参考)2016年3月期改装実施店舗

店舗名	所在地	備考
新井田店	青森県	
榴岡店、清水沢店	宮城県	
米沢店、瀬波店、新庄店	山形県	
西那須野店	栃木県	
南柏店	千葉県	
紫竹山店	新潟県	
新桜町店	愛知県	
高岡店	富山県	
菅原店、紀寺店	奈良県	
JR茨木駅前店、楽市 箕面船場店	大阪府	
神戸藤原台店	兵庫県	
歌島橋店、野田阪神店	大阪府	屋号変更
三田WT店、富松町店、北鈴蘭台店	兵庫県	屋号変更

酒販事業 2016年3月期出店店舗

新発田店(新潟県)

2015年4月24日開店



深井駅前店(大阪府)

2015年4月24日開店



砺波店(富山県)

2015年7月24日開店



青梅今寺店(東京都)

2015年9月18日開店



足利八幡店(栃木県)

2015年11月13日開店

前橋三俣店(群馬県)

2016年2月5日開店



東大和店(東京都)

2016年2月11日開店



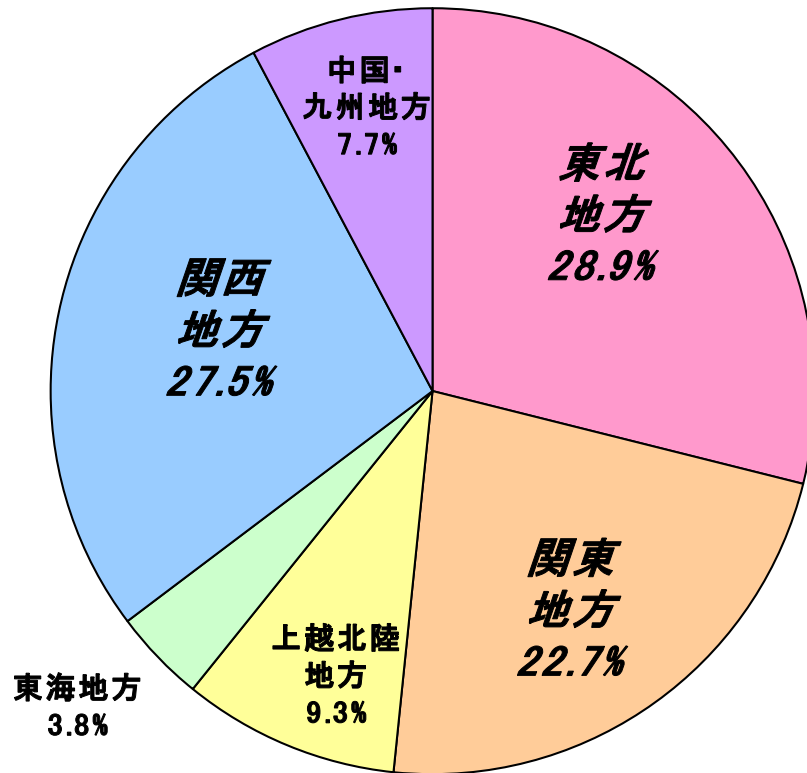
市原五所店(千葉県)

2016年3月25日開店

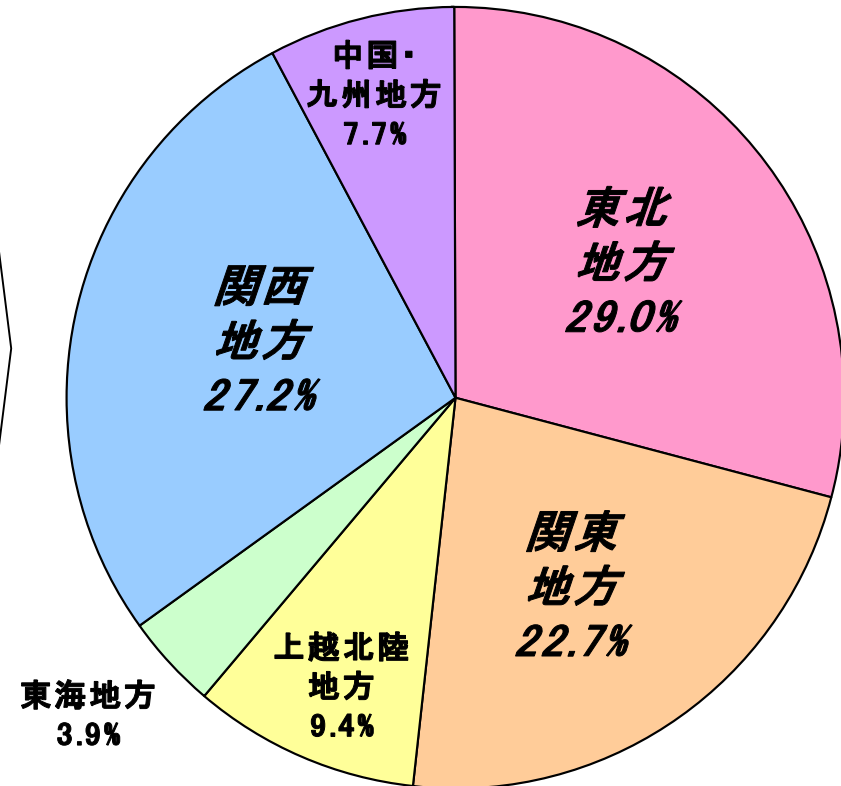


酒販事業 地域別売上高構成比

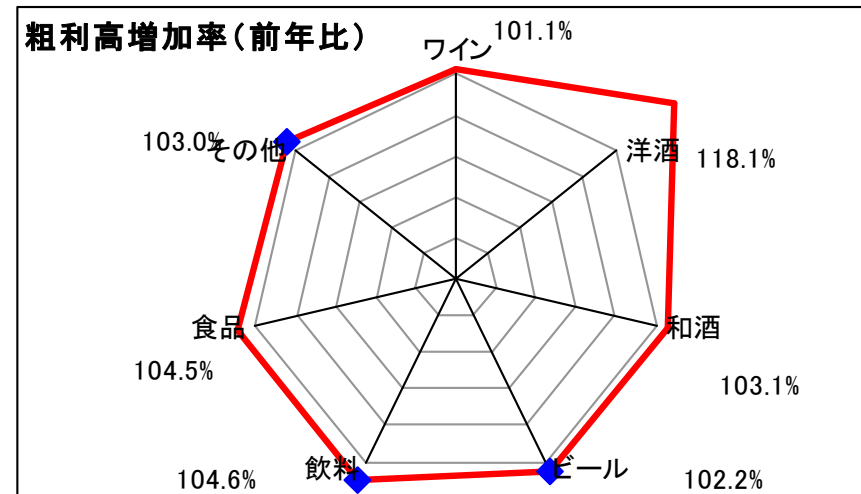
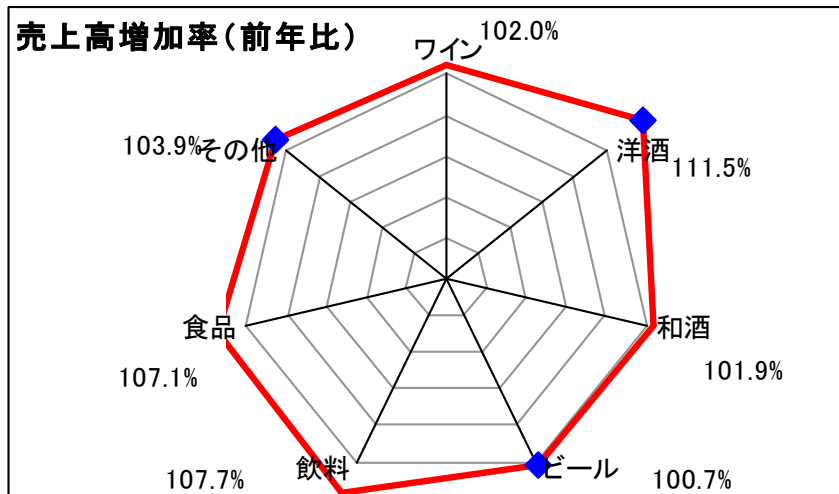
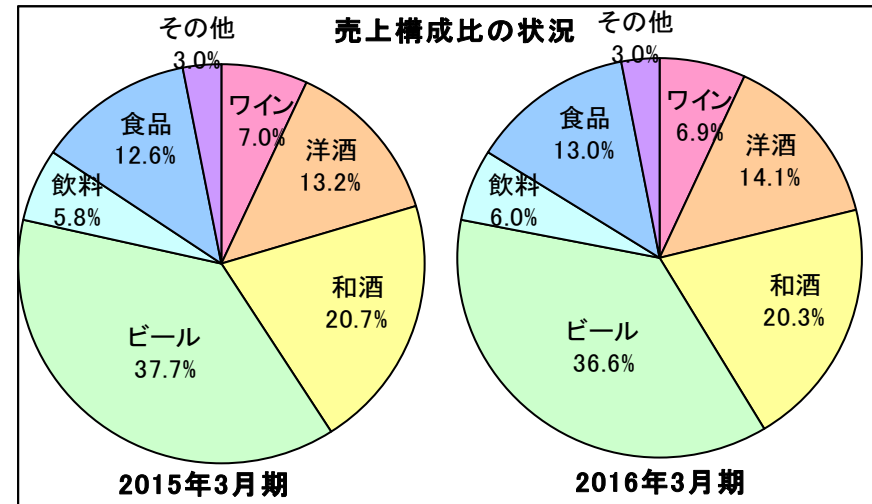
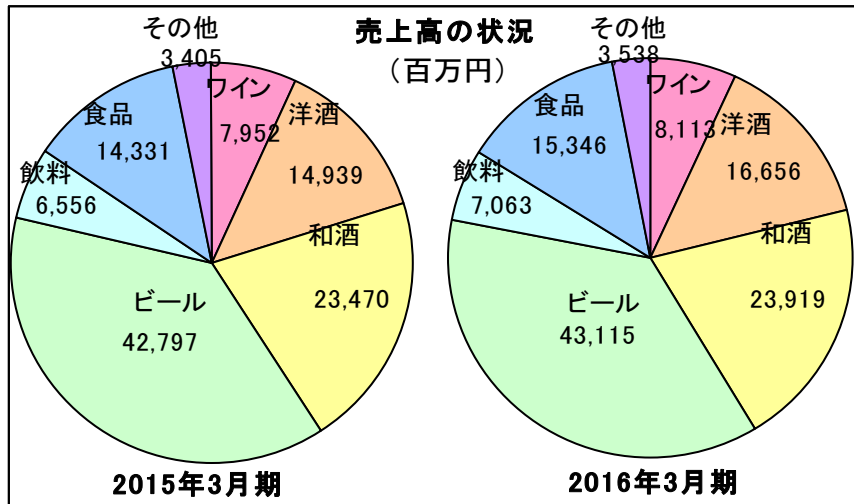
2015年3月期



2016年3月期



酒販事業 商品部門別売上高の状況



今年度の取り組みの一例

既存店の活性化事例

歌島橋店(大阪府)

活性化実施前(楽市業態)



活性化実施後(やまやへ業態転換)



2016年3月期は、ハード面の活性化リニューアルに加え、「楽市」から「やまや」への業態転換を伴う改装も積極的に実施しました。

活性化実施後(地酒)



活性化実施後(ワイン)



活性化実施後(高級洋酒)



活性化実施後(催事:ハロウィン)



ハード面のリニューアルを伴う既存店活性化(業態転換を含む)を継続実施しながら、それらをモデル店舗として、地域内の店舗に商品・売場づくりを水平展開し、全店舗で「ソフト面」での活性化を継続して実施し、全体の売上・粗利率の改善を図ります。

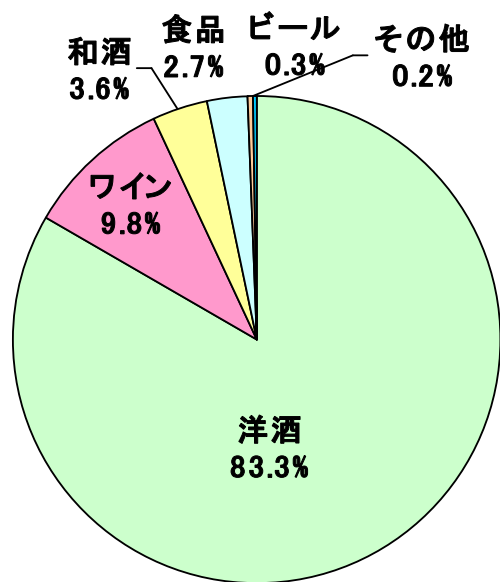
今年度の取り組みの一例

外国人旅行者向け消費税免税販売の実施拡大



55店舗で展開する「外国人旅行者向け消費税免税販売」は東京・京都・大阪・福岡等で洋酒部門を中心に順調に推移し、酒販専門店としての認知度を高めています。
2016年3月期については、約8,000件の取扱いで1億87百万円の販売実績がありました。
平均客単価は2万3千円で、通常の客単価(免税実施55店平均約2,200円)の約10倍となっております。
今後とも、購買力の高い外国人旅行者を取り込むことで、酒販事業の売上拡大を図ってまいります。

消費税免税販売売上構成比
(2016年3月期)



消費税免税販売実施店舗の店頭

<赤坂店>



<山下公園店>



グループ1,000店舗のグループシナジー

酒販・外食両事業のシナジー効果を最大化し、お客様に最高の品質とコストパフォーマンスを伴った「おいしいきっかけ」を提供することで、両事業におけるグループ全体の企業価値の向上に努めてまいります。

- 清酒「雪の松島」シリーズ(大和蔵酒造)の外食事業店舗における提供と販促強化
- 4月から「はなの舞」全店にて「ドンシモンサングリア」を販売
- 当社ギフトカタログ・通販サイトにおけるチムニーPB商品の販売(ギフトカタログP93参照)



「雪の松島」ブランドを販促チラシに掲載し積極的にアピール



「ドンシモンサングリア」はグラスワインに迫るほどの人気メニューに



はなの舞産地直送ギフト「ローストビーフと和醬煮込みセット」

外食事業 2016年3月期 実績

●外食事業 2016年3月期 実績

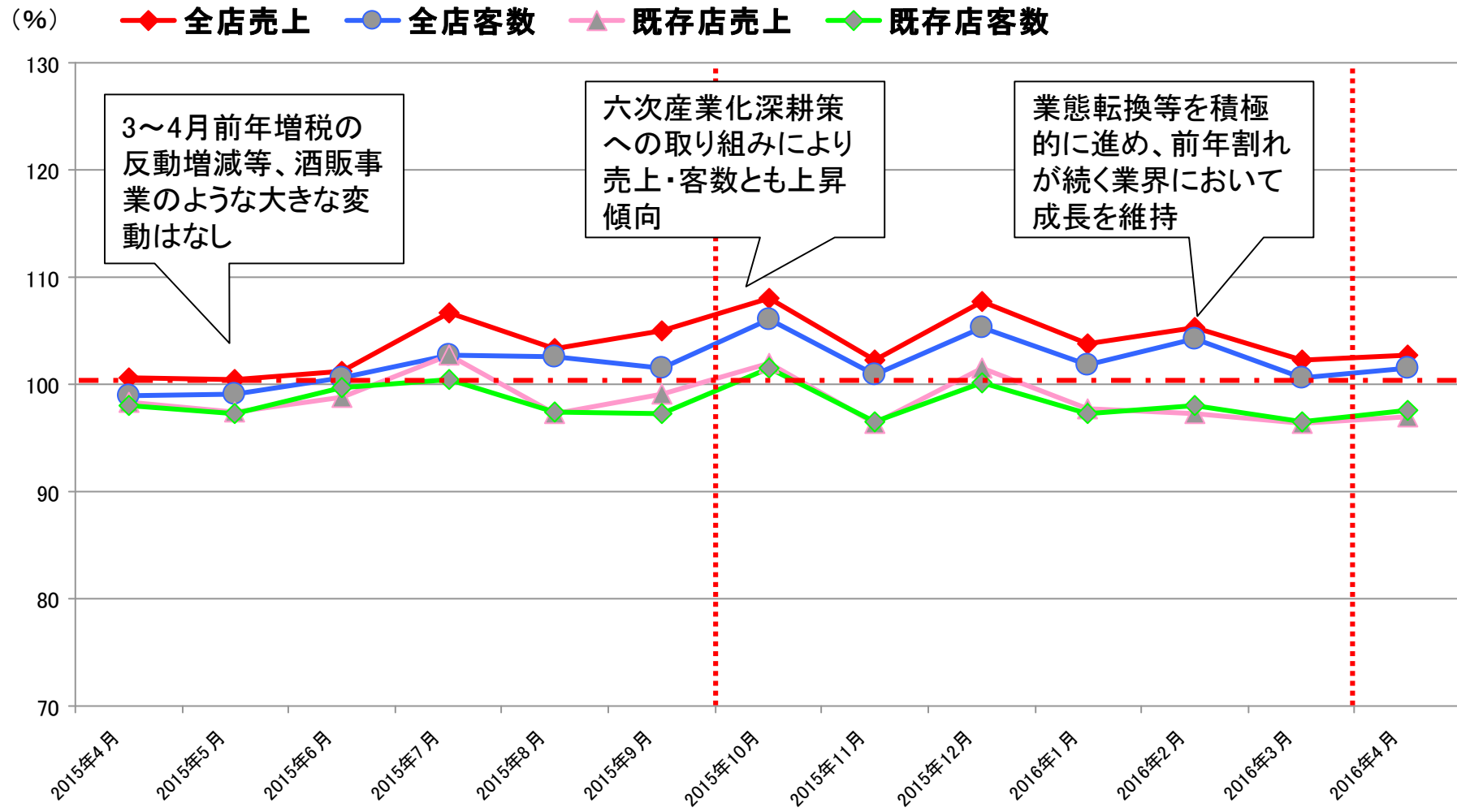
- 売上高 481.3億円(前年同期比 +2.9%)
- 営業利益 35.3億円(前年同期比 +4.1%)

単位(百万円)

項目	2015年3月期	構成比	2016年3月期	構成比	前期比
売上高	46,761	-	48,131	-	102.9%
売上総利益	31,088	66.5%	32,030	66.6%	103.0%
販管費	27,695	59.2%	28,499	59.2%	102.9%
営業利益	3,392	7.3%	3,531	7.3%	104.1%

外食事業 2016年3月期 業績

直営既存店売上及び客数前年対比の推移



6次産業の拡充：島根県大田市で取り組み始めた漁業権・漁船の活用

島根県大田市で漁業権・買参権、新潟県で買参権を活用し自社で鮮魚を調達

- 島根県大田で、漁業権と漁船を活用。イカ釣り漁を開始。卸売市場のセリにかける。買参権を行使して買い付け。



写真左)所有漁船「豊丸水産号」 (中央左)社員によるイカ漁 (中央右)漁獲したイカ (右)大田水産物地方卸売市場で買参権を活用して買付け

- 新潟県では、新潟地方卸売市場で買参権を活用。鮮魚を調達。 写真下)新潟地方卸売市場での鮮魚買付け



6次産業の拡充:2次産業の加工における業容拡大

バックキッチン:関東と関西の2拠点で店舗を支える

● 干物作成

- 1次産業:愛媛県八幡浜漁港での漁業権や、JF島根の買参権を活用し、のどぐろ等の魚やタコ・イカなどを仕入
- 2次産業:バックキッチンで干物加工
- 3次産業:店舗のメニューや株主様用優待品として提供

写真下)干物作成



● 鮮魚ボックス

- 1次産業:新潟県での買参権を活用し鮮魚を調達
- 2次産業:鮮魚ボックスとしてバックキッチンで仕分け
- 3次産業:店舗で本日の獲れたて鮮魚として提供

写真左)関西バックキッチンでの干物作成
(中央)のどぐろ (右)干物セット



販売促進企画：専門性を追及した居酒屋ならではのメニュー施策

「北海道直送 花の舞」及び「STEAK(ステーキ)チムニー」の開発と拡大で 差異化した店舗づくり

- 「北海道直送 花の舞」・・・北海道直送の商材を中心に取揃えた業態
 - 本店とする本場北海道札幌市中央区に「札幌北2条店」(6/26)、東京都千代田区「秋葉原駅前店」(6/18)、「京急川崎駅前店」(8/1)にオープンし、北海道業態は合計13店舗
 - 北海道の新鮮素材を活かしたメニュー構成
 - 北海道の地元の方に愛される、選別した商材を、首都圏の店で展開
- 「STEAK(ステーキ)チムニー」・・・外食企業との業務提携による新たな業態開発手法により、食事動機業態としての展開を目指す
 - ボリューム感のある塊の状態で焼き上げるステーキを看板メニューとする鉄板焼きステーキレストラン
 - 新規出店と居酒屋業態からの転換によって3年間で30店舗への成長を目標とする



北海道直送 花の舞
札幌北2条店



グランドメニュー
「函館直送活烏賊」



STEAKチムニー木場店



グランドメニュー
「エアーズロック」
株式会社やまや

販売促進企画：専門性を追及した居酒屋ならではのメニュー施策

・高級食材特化型。専門性を追求した店舗展開。「牡蠣」への取り組み

- 【国内】ノロウイルスフリーを目指した浄化システムを活用
 - 厚生労働省の食品衛生法規格基準より、厳しい基準で検査された牡蠣を活用
 - 北海道の「仙鳳趾(せんぼうし)」・厚岸(あつけし)の「まるえもん」・三重県の「的矢かき」・福岡県の「みるくがき」など、産地別・ブランド別の味の違いを楽しんで頂く
 - 広島県で展開する「かき小屋」店舗は、年間を通じて広島の牡蠣を提供
 - 島根県の「魚鮮水産 出雲市駅南口店」では、隠岐の岩牡蠣を季節のメニューへ
- 【海外】ニュージーランドへの牡蠣の買い付け
 - フェアメニュー「春のうまいもの祭」「夏元気祭り第1・2弾」などに投入

写真下) 牡蠣のガンガン蒸し



写真) 多種類の牡蠣の食べ比べ



全国の生産者から自慢の牡蠣を調達



産直牡蠣センターさかなや道場小伝馬町店

販売促進企画：インバウンドによる創客

訪日観光客から食のテーマパークとして人気

●インバウンドによる創客

- 1～6月の訪日客数は過去最高の913万人（日本政府観光局）
- 当社店舗でもツアー・個人客を積極的に取り込み創客

●全国各地でインバウンドのお客様を誘致

- 食と文化を融合した体験型サービスが人気
- 京都の「花の舞京都中央口店」「龍馬軍鶏農場京都三条大橋店」
東京では「はなの舞浅草雷門店」を中心に、全国各地で集客
- 花の舞両国国技館前店では、年間来客数30万人のうち、観光客10万人、うちインバウンド3万人。さらに増加の傾向
- 日本政府観光局（JNTO）の公式サイトで、外食企業として初めて紹介され、全世界からの問い合わせが増加

JAPAN Monthly Web Magazine Japan JNTO 日本政府観光局のWEBサイトによる当社掲載記事
Take in Japan at a Japanese food theme park!



「花の舞 両国国技館前店」では多数の体験型イベントを実施

（写真左下）女性客にも人気（中央）阿波踊り（右）解体ショー



新本店と新本社事務所

新本店

● 「両国八百八町 花の舞

江戸東京博物館前店」

- 3月1日約150席、4月1日約500席でオープン
- 江戸をモチーフにした、味わいある店舗
- 「江戸東京博物館」・今年オープン予定の「すみだ北斎美術館」・計画中の「刀剣博物館」と、3つの江戸文化の博物館に囲まれ、両国国技館にも近いロケーション
- 店内に、相撲協会監修の土俵を設置
- 和食と伝統文化を、国内外のお客様に楽しんでいただける旗艦店舗

新本社事務所

- 東京都台東区柳橋2-19-6
柳橋ファーストビル 3階
- 2月22日(月)より執務開始



(上) 新本店 外観イメージ図 (下) 新本店 周辺地図



E.O.F

【本資料に関する注意事項】

本資料は、本年11月11日に発表しました「平成28年3月期 第2四半期決算短信」の参考資料として、平成28年3月期 第2四半期の業績動向を補足説明することを目的として作成したものです。本資料に掲載されている株式会社やまや及び連結の業績見込み、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、事業等のリスクや不確実な要因によっては、大きく変化する可能性があります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

また、本資料は、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断に基づいて行っていただきますよう、お願い申し上げます。

資料：酒販事業各種データ

株式会社やまや 株式の状況(2016年3月31日現在)

■ 株式の状況

-発行可能株式総数	35,000,000株
-発行済株式総数	10,847,870株
-株主数	2,815名

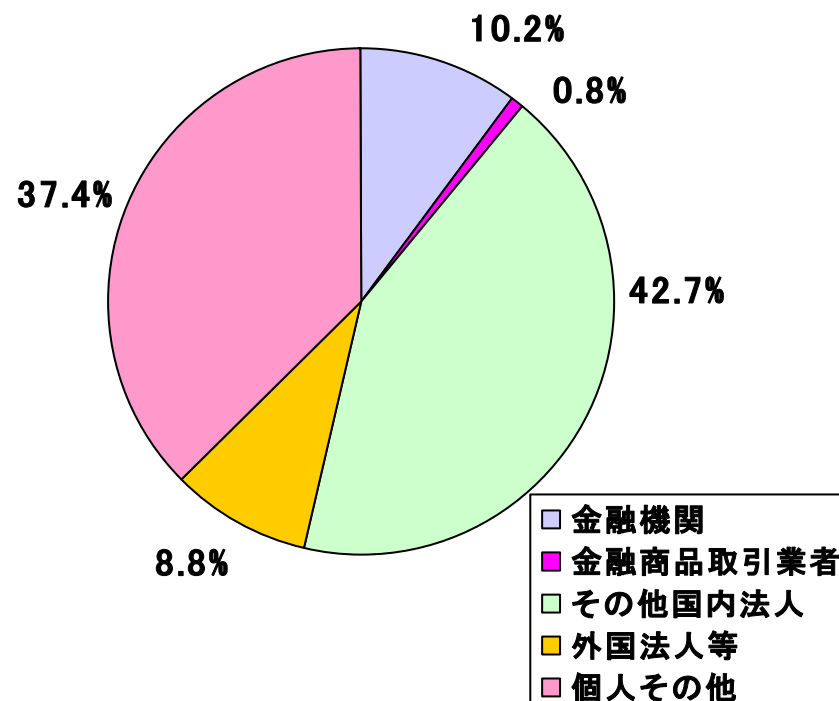
■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株 比率(%)
山内コンサルタント株式会社	2,476,000	22.83
山内英靖	2,169,640	20.01
イオン株式会社	2,072,730	19.11
山内浩晶	325,260	2.99
日本スタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	278,900	2.57
株式会社七十七銀行	220,000	2.02
山内英房	197,960	1.82
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	141,800	1.30
STATE STREET TRUST AND COMPANY 505019	88,800	0.81
山内一枝	85,800	0.79

※持株比率は自己株式5,335株を控除して計算しております。

■ 所有者別株主分布状況

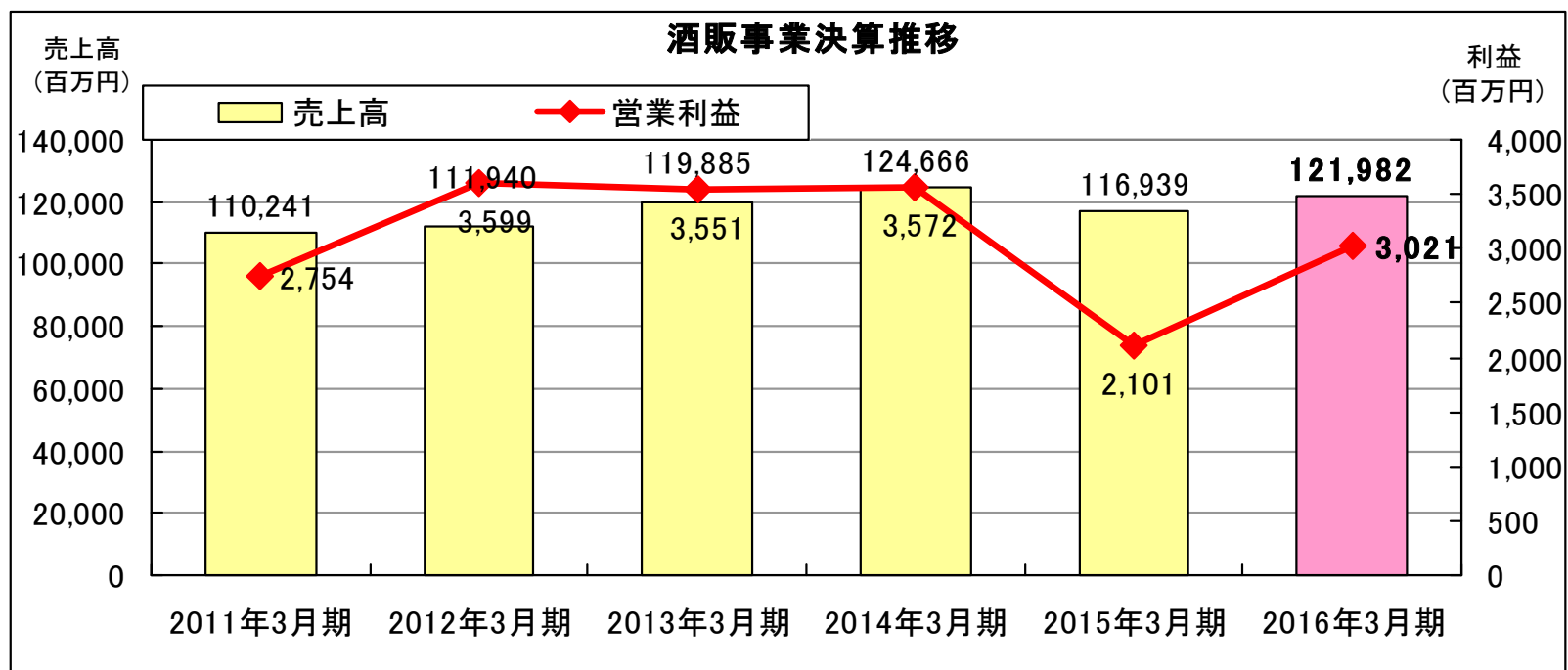
金融機関	1,107,200株
金融商品取引業者	86,750株
その他国内法人	4,635,094株
外国法人等	957,687株
個人その他	4,061,139株
合計	10,847,870株



酒販事業 決算推移

単位(百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
売上高	110,241	111,940	119,885	124,666	116,939	121,982
営業利益	2,754	3,599	3,551	3,572	2,101	3,021



酒販事業 財務状況 2016年3月期 (バランスシート)

- 総資産520.2億円 (前期末比+ 8.3億円)
- 負債 272.7億円 (前期末比 △ 6.5億円)
- 純資産237.0億円 (前期末比+15.5億円)

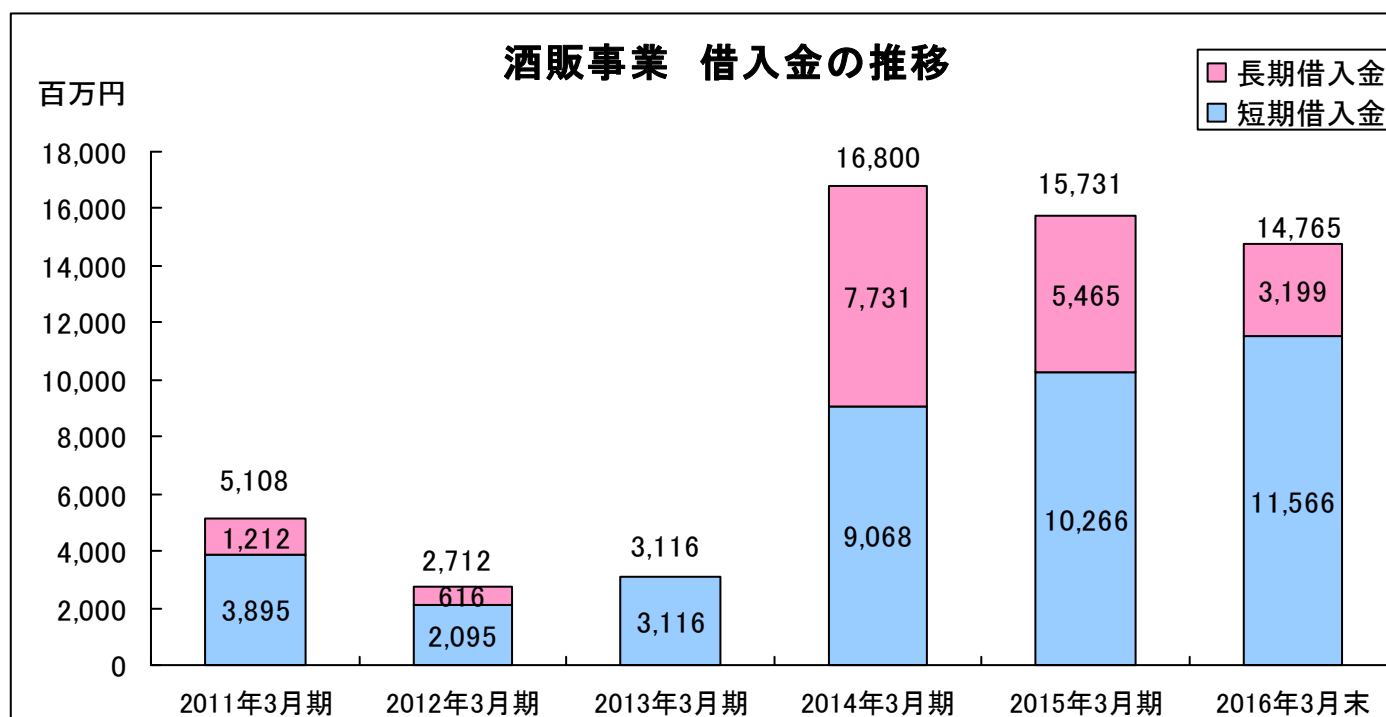
単位(百万円)

	2015年3月末	2016年3月末	前期末比
流動資産	18,966	20,459	+1,493
固定資産	32,225	31,565	△659
流動負債	21,177	22,743	+1,566
固定負債	6,817	4,526	△2,290
純資産	23,197	24,755	+1,557
総資産	51,191	52,025	+833

酒販事業 借入金の状況

単位(百万円)

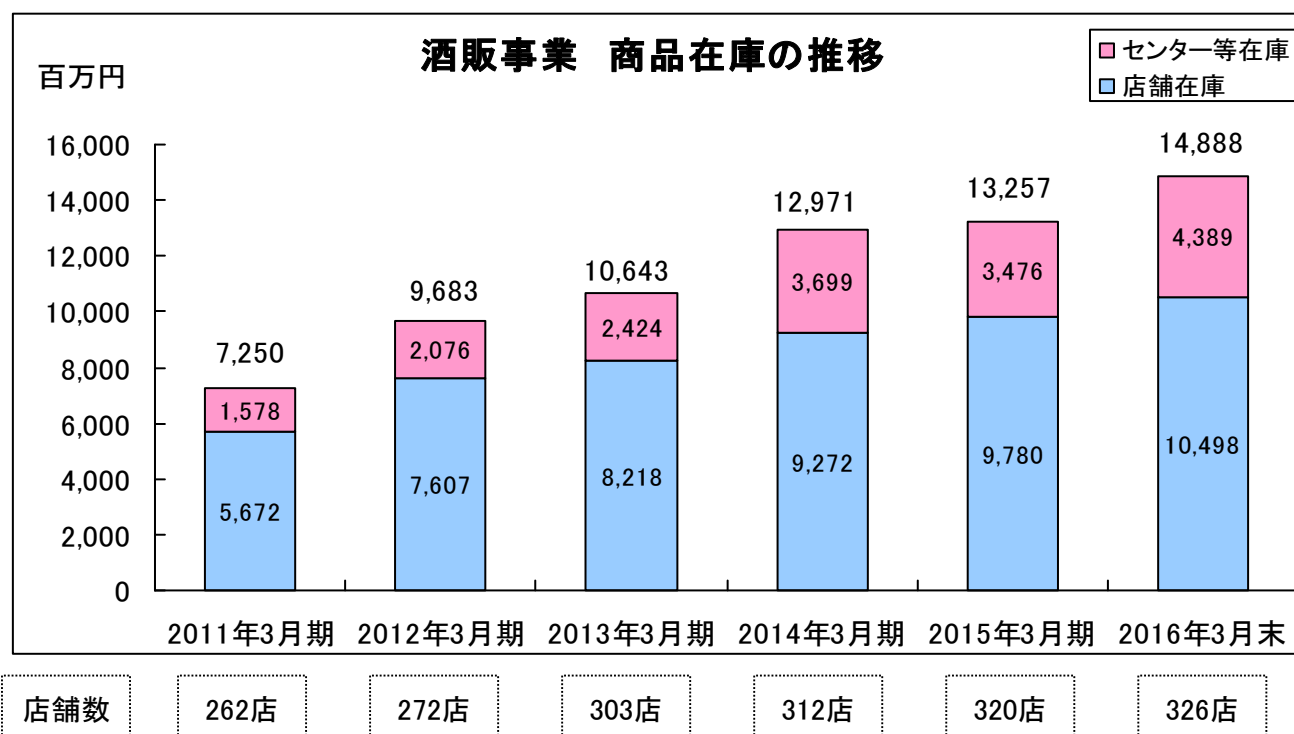
	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月末
短期借入金	3,895	2,095	3,116	9,068	10,266	11,566
長期借入金	1,212	616	0	7,731	5,465	3,199
合計	5,108	2,712	3,116	16,800	15,731	14,765



酒販事業 商品在庫の状況

単位(百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月末
店舗在庫	5,672	7,607	8,218	9,272	9,780	10,498
センター等在庫	1,578	2,076	2,424	3,699	3,476	4,389
合計	7,250	9,683	10,643	12,971	13,257	14,888
店舗数	262店	272店	303店	312店	320店	326店



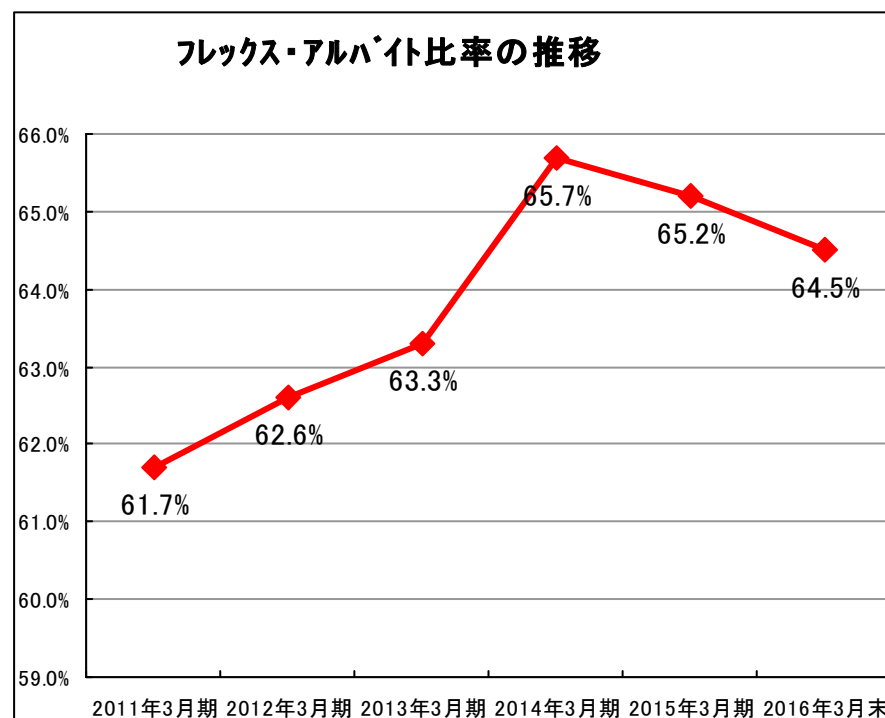
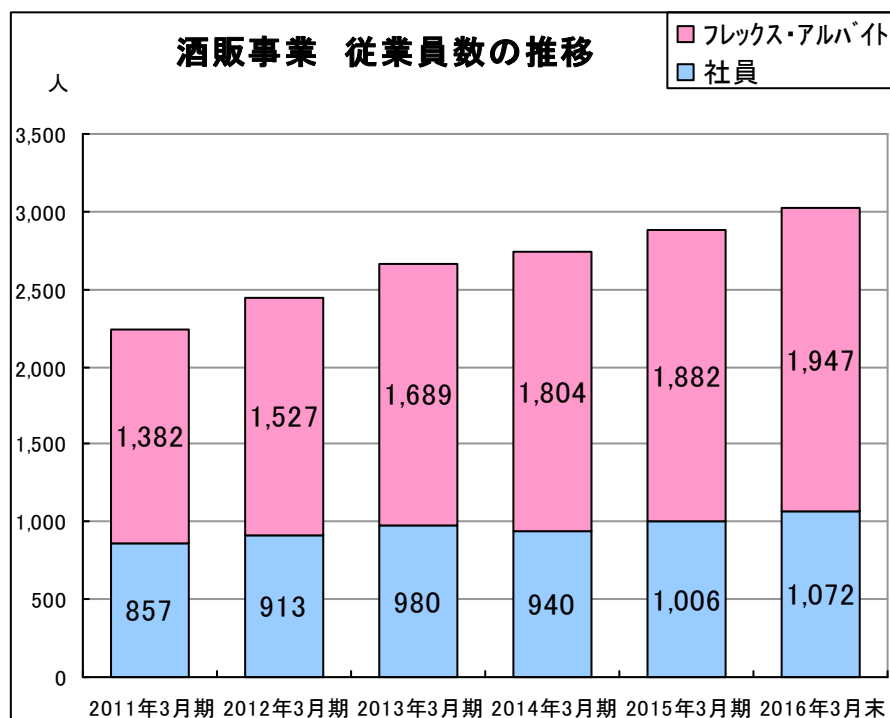
酒販事業 従業員の状況

●従業員数・フレックスアルバイト比率の推移

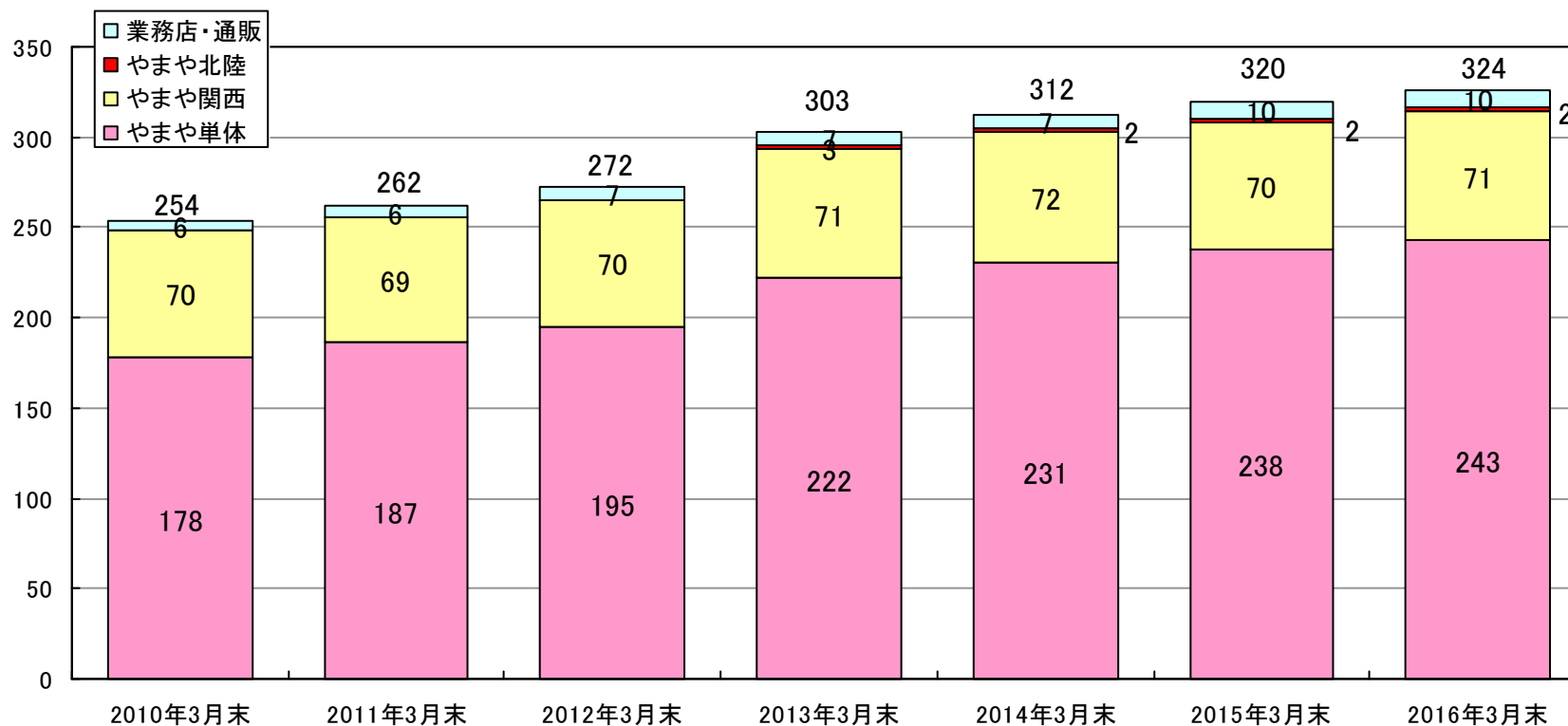
単位(人)

	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月末
社員	857	913	980	940	1,006	1,072
フレックス・アルバイト	1,382	1,527	1,689	1,804	1,882	1,947
フレックス・アルバイト 比率	61.7%	62.6%	63.3%	65.7%	65.2%	64.5%

※フレックス・アルバイトは期中の8時間換算の平均人員を採っています。 ※2015年3月期の社員数は、2015年3月30日に入社した新入社員56名を含む数値です。



酒販事業 店舗数推移(運営会社別)



	2010年3月末	2011年3月末	2012年3月末	2013年3月末	2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末
やまや単体	178	187	195	222	231	238	243
やまや関西	70	69	70	71	72	70	71
やまや北陸				3	2	2	2
業務店・通販	6	6	7	7	7	10	10
合計	254	262	272	303	312	320	326